

◎ MUFG 三菱UFJフィナンシャル・グループ

日本に軸足を置いたグローバル金融グループを目指して

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役執行役専務グループCFO 徳成 旨亮 CMA

このたびは銀行部門（3年連続）ならびに個人投資家向け情報提供（2年連続）において優良企業賞を頂戴し、大変光栄に存じます。私どもは、国内における4,000万の個人のお客さまの口座と40万社の法人のお客さまを基盤に、世界約50カ国で銀行業、証券業、アセットマネジメント事業等を展開致していますが、これら事業は株主様からの資本や債券発行による負債に支えられています。その意味で、投資家の代弁者であるアナリストの皆様から、このようなご評価を頂戴したことは大変ありがたいことだと考えております。

「銀行部門」では、1. 経営陣のIR姿勢、2. コーポレート・ガバナンス、3. 自主的情報開示の3項目で高い評価を頂きました。

1. つきましては、経営陣が自らの言葉で経営方針やグループ戦略を皆様にご説明することを心掛け、IR室員と共に国内外で年間約600回の面談を行っています。これからも、経営陣とIR室員が一丸となって皆様方との緊密なコミュニケーションに努めて参ります。

2. のコーポレート・ガバナンスに関しては、私どもは指名委員会等設置会社として、7名の社外取締役（うち2名は女性）を含む取締役会で、より深度のある議論が行えるよう様々な工夫を行っています。社外取締役になじみの少ない弊社の業務や銀行システム等をご理解頂くためのエデュケーション・セッション、経営戦略を議論するための終日オフサイト・ミーティング、独立社外取締役だけの会議等がその具体例です。また、取締役会では、資本政策について、資本を健全性や格付の維持のためにさらに蓄積するのか、M&A

等戦略的出資に使うのか、自己株式取得等の株主還元の拡大に用いるのか、すなわち、「資本の三角形」のバランスをどう取るべきかを議論しています。

3. の自主的情報開示では、昨年9月に、米国ビジネス戦略を私どもの米国子銀行の米人社長が直接ご説明する「事業戦略セミナー」を開催しました。また、今年2月には「MUFG Investors Day」を開催し、5事業本部長による各事業の戦略の説明に加え、社外取締役（リード・ダイレクター）によるガバナンスに関する説明と質疑応答を実施しました。今後とも、皆様との対話に資するイベントを企画・開催して参ります。

「個人投資家向け情報提供」では、個人投資家向け会社説明会や事業報告書が高い評価を頂きました。経営陣自らが個人投資家向けセミナーにて各種の取り組みをご説明していることや、統合報告書の内容が皆様からご評価頂いたものと認識しております。これからも個人投資家の皆様にとって分かり易い情報開示に努めて参ります。

2017年も引き続き不透明な経営環境が続きますが、私どもは「日本に軸足を置いたグローバル金融グループ」を目指して、ビジネスモデルの変革や業務の効率化に挑戦し続け、企業価値の向上に真摯に取り組んで参ります。引き続き、ご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

